

平成20年（2008）3.11

健康お知らせ

あなたと区との

HotLINE

日=日時・期間

会=会場・場所

内=内容

対=対象・定員

費=費用・料金

参=参加方法

申=申込方法

問=問い合わせ

妊婦あんしん相談

不妊の原因や治療などの悩みについて専門医師が相談に応じます。
日3月27日(木)午後1時30分～4時
区電話で保健所（住原2－9－6☎3788－7016）へ

母乳相談

日3月27日(木)午後1時30分～3時30分
助産師による母乳の話・相談、グループワーク
1～2カ月児の母親10人（先着）
※そのほか希望の方はご相談ください。
区日3月14日(金)から、電話で保健センター（北品川3－11－22☎3474－2903）へ

離乳食教室

日3月21日(金)午前10時30分～正午
離乳食の話と試食
9～11カ月児と保護者25組（先着）
区電話で保健センター（北品川3－11－22☎3474－2902）へ

ひきこもり・不登校家族教室

家族ができることを学びながら、共通する悩みや不安を話し合える場です。
日3月27日(木)午後2時～4時
講話、グループワーク
※個別相談（予約制）も行います。
☎ひきこもり・不登校でお悩みの家族
区電話で大井保健相談所（大井2－27－20☎3772－2666）へ

呼吸器リハビリ教室

日程(全回)	内 容
4/1(火)	歌をうたって腹式呼吸を学びましょう
4/9(水)	専門医が教えます！治療でも大切な呼吸器リハビリ気功を学び、筋力をつける太極拳に挑戦しましょう
4/15(火)	効率のよい酸素の取り入れ方を学びましょう

※時間は午後2時～4時。
区住原文化センター（中延1－9－15）
☎18歳以上で慢性呼吸器疾患の方と家族80人（抽選）
日3月21日(金)（必着）までに、はがきで教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を健康課公害補償係（☎140－8715品川区役所☎5742－6747）へ

応急診療所

※行く前に必ず電話連絡を。健康保険証を忘れずに！

内科

小児科

歯科

接骨

小児平日夜間診療	診療時間	午後7時30分～午後10時30分	固定診療所
月～金曜日	小	住原医師会附属診療所……………中 延2－6－5……………住原医師会館内（15歳未満）	☎3783－2355
休日昼間・夜間	診療時間	午前9時～午後10時	固定診療所
3月16日(日)20日(祝)	内小	品川区医師会休日診療所……………北品川3－7－25……………☎3450－7650	
	内小	住原医師会休日診療所……………中 延2－6－5……………住原医師会館内	☎3783－2355
休日昼間	診療時間	午前9時～午後5時	
3月16日(日)	内小	佐川医院……………南大井4－8－12……………☎3761－8580	
	歯	ナリタ歯科医院……………西五反田2－13－5……………☎3493－0484	
	歯	もりた歯科……………戸 越2－6－3……………☎5751－4618	
	歯	行方接骨院……………ハ 潮5－2－2……………☎3799－5809	
	歯	上條接骨院……………二 葉2－8－9……………☎3786－7949	
3月20日(祝)	内小	酒寄医院……………東大井2－26－3……………☎3761－3250	
	歯	大崎デンタルオフィス……………大 崎1－11－1……………☎3490－8612	
	歯	清水坂歯科医院……………戸 越2－1－20……………☎3783－2200	
	歯	目黒整骨院……………上大崎2－15－5……………☎3444－7796	
	歯	中村接骨院……………中 延1－2－7……………☎3782－8232	
土曜日夜間	診療時間	午後5時～午後10時	
3月15日(土)	内小	品川区医師会休日診療所……………北品川3－7－25……………☎3450－7650	
●品川区テレホンサービス ☎3777－1135 ※重病の方は119番をご利用ください。			
医療機関の24時間案内	東京都保健医療情報センター(ひまわり)……………☎5272－0303		
	東京消防庁テレホンサービス……………☎3212－2323	品川消防署……………☎3474－0119	大井消防署……………☎3765－0119
	住原消防署……………☎3786－0119	救急相談センター……………#7119	

1にぎわいと活力のある地域社会づくり

これからは、区民、町会・自治会など、様々な主体が力を合わせて、地域の課題の解決に取り組んでいくことにより、お互いが、見守り支え合い助け合う、豊かな地域社会をつくっていくことが大切です。

地域コミュニティの活性化

地域力の向上を支援する事業を積極的に展開します。

町会・自治会に対しては、ホームページの立ち上げ、加入促進パンフレット作成などの支援を行います。町会・自治会の様々な活動や地域で果たす役割について広く区民に紹介することにより、加入の促進につなげます。

原小学校跡施設「ワエルカムセンター原」については、保育園と、高齢者のケアホームや介護予防拠点を設置するほか、地域の方が自主的管理を行う、新しいタイプのコミュニティ拠点づくりを支援し、地域活動・交流施設を整備します。

活力を高める産業振興と観光の推進

住工商がバランスよく存在する品川区にとって、工業、商業の活性化は活力あるまちづくりには不可欠です。

ものづくりの分野では、京浜地域の四つの自治体の合同で新製品・新技術コンクールを開催し、区内製造業の技術集積を広くPRし、受発注機会の増大、販路の拡大に役立てます。

区内のものづくり産業を支援する施設の設置など、東京全体のものづくり

2子育て支援の充実と教育改革の推進

近年の核家族化の進行、近隣関係の希薄化、就労環境の変化などを背景として、育児不安や、虐待など、子育てをめぐる環境には厳しいものがあります。こうした中で、安心して子どもを産み育てることができるよう、総合的な子育て支援策を展開します。

公教育が区民の信頼を得るためには、区立の学校がその責任をしっかりと果たすことがまず必要です。こうした観点から、子どもたちが区立小・中学校で十分な学力を身に付けられるよう、小中一貫教育の充実と、豊かな教育環境づくりを積極的に進めます。

安心して産み育てられるための環境整備

現在2回の公費負担を実施している妊婦健康診査は、さらに12回に上乗せし、合計14回の健診費用を公費負担します。出産にかかると経済的負担を軽減するとともに、母体や胎児の健康の確保をさらに図っていきます。あわせて、産婦歯科検診を新設し、妊娠中から出産後にかけての口腔内の健康の保持増進を図ります。

親育ち支援

最近では、子育てに関する知識や経験が不足したまま親となり、氾濫する子育て情報の中で不安を抱え、家庭や地域で孤立しているケースが多く見られます。

現在実施しているすくすく赤ちゃん訪問事業では、保健所・保健センターと児童センターなどの連携により、育児の孤立化や子育て不安の解消、児童虐待の未然防止に取り組んでいます。20年度からは、さらに図書館とも連携

3健康づくりの推進と福祉の充実

20年度から、生活習慣病の予防に重点を置いた健康制度改革が実施されます。区民の健康長寿にとって、成人期から高齢期の疾病予防が不可欠です。

疾病予防の推進

死亡の最大原因となっているがん対策として、50歳代から増加するがん頭がんの検診を開始します。40～50歳代の女性で増加する乳がんについては、受診機会を拡大を図ります。

がんの健康については、80歳で20年以上の歯を有する区民に対する「8020顕彰」に加え、19年度からは、60歳で24本以上の歯を有する区民に対する「6024顕彰」を実施しています。顕彰する「9016顕彰」を新設します。

医療制度改革により、国民健康保険の保険者である区は、20年度から、40～74歳の被保険者の特定健康診査、特定保健指導を行うこととなります。受診率の向上と区民の健康の保持増進を図り、医療費の適正化を総合的に推進します。75歳以上の方を対象とする後期高齢者医療制度は、広域連合と連携して、適切な運営に努めます。

高齢者の社会参加の促進

団塊世代が高齢者となっていくこれからの高齢社会に向けて、高齢者が住みながら地域でいきいきと元気に暮らしていくためには、地域での支え合い、とりわけ高齢者相互の助け合いが非常に重要になってきます。特に、高齢者が地域で行うボランティア活動は、生きがいや健康づくりにともなり、手助けを必要とする高齢者の支えともなります。そこで、積極的に社会参加するためのしくみとして、地域貢献ポイント事業をスタートして、高齢者向けボランティア活動参加者にポイントを付与して、区内共通商品券との交換や寄付

4環境保護と水とみどりのネットワーク化の推進

地球温暖化対策としての環境負荷の軽減は、家庭や区民一人ひとりの取り組みの積み重ねが重要です。

こうした考え方を基に、地球にやさしいエコライフを啓発するため、工学院大学と連携して、各種省エネルギー住宅などを紹介する「パーチャルエコ住宅」を、区の環境情報提供サイト「ジナモニ」に構築します。

また、日本環境協会やトラック協会と連携し、エコドライブ講習会を開催します。23区で唯一、都の融資あっせん制度への上乗せ助成を行っている低公害車購入助成は、20年度も引き続き実施し、低公害車の導入を促進して、大気汚染の低減を図ります。

さらに、老朽化した街路灯をCO₂の排出量が約50％減となる省エネルギー型

に向けて工事に着手します。品川地区については実施設計を、荏原東地区については基本計画と準備を進めます。

小中一貫校構想に基づき、今後、順次建設を進め、小中一貫教育の着実な定着を図ります。

特別支援教育では、通級指導学級を源氏前小学校に開設し、引き続き充実に努めます。

5暮らしを守る安全・安心のまちづくり

と、資源回収品目の拡大については、混入を招かないよう、あらゆる情報手段を用いて周知徹底に努めます。

水とをのちのネットワーク化の推進

地下化された東急目黒線の軌道跡地の一部を緑道とし、「水とみどりのネットワーク」の内陸部における主要軸線の一つとして整備します。

河川の浄化については、立会川で実施している水質浄化実験の成果を踏まえ、高濃度酸素溶排水の吐き出しを踏まえて、本格的に実施します。目黒

防災体制の強化

自分たちのまちは自分たちで守るという意識を高め、地域で連携して体制を整えていくことが重要です。

このことから、地域における初期消火体制の充実強化として、小・中学校への消火ポンプの配備を始めるほか、事業所との連携の強化など、地域、事業所、区による相互協力体制を一層強化します。また、区民消防隊の、より実践的な活動に資するため、消火栓の開閉留具を配備します。

震災後の復旧に向けて、採るべき方策・手順について時系列・項目別に表した震災復興マニュアルを作成し、都市機能の早急な復旧に役立てます。

減災の観点からは、家具転倒防止器具と住宅用火災警報器の設置助成制度の対象を拡大して、高齢者や障害者世帯の安全確保を強化します。

防災まわりの推進

昨年策定した「品川区耐震改修促進

6暮らしを守る安全・安心のまちづくり

川でも、高濃度酸素溶排水による水質浄化実験を行い、適用性を検証します。

また、基本構想の策定を記念して、子どもたちとの協働により新しい都市像の実現をめざす、新基本構想策定記念公園の整備を検討したり小・中学生に募集した作文の中からの提案によるもので、20年度から子ども会会議を設置して検討を行います。高齢者や障害者、環境に配慮したみんなのための子どもら、高濃度酸素溶排水の吐き出しを踏まえて、22年の完成をめざして準備を進めます。

区政運営の基盤

区政運営を円滑に進めるためには、区民の声をしっかりと聴くとともに、区の考えをわかりやすく区民に伝えることが大切です。

区民意見公募手続（パブリックコメント）の制度や、地域に出て、区民の方と率直に意見を交換し合うタウンミーティングを実施してきました。引き続き20年度もタウンミーティングを実施し、区民の声に耳を澄ませて区民参加の区政運営を進めます。

区民への情報提供については、「広報しながわ」11日号を全号8ページに増ページするとともに、記事内容をさらに充実させます。ホームページやケーブルテレビとあわせて、区民への情報提供をさらに強化します。

協働の推進

協働の推進については、これまでの取り組みを踏まえ、ボランティアやNPOなどへの具体的な支援策の拡充に取り組むとともに、記事内容をさらに充実させます。ホームページやケーブルテレビとあわせて、区民への情報提供をさらに強化します。

区民にとって身近な区政の推進

区政運営を円滑に進めるためには、区民の声をしっかりと聴くとともに、区の考えをわかりやすく区民に伝えることが大切です。

区民意見公募手続（パブリックコメント）の制度や、地域に出て、区民の方と率直に意見を交換し合うタウンミーティングを実施してきました。引き続き20年度もタウンミーティングを実施し、区民の声に耳を澄ませて区民参加の区政運営を進めます。

区民への情報提供については、「広報しながわ」11日号を全号8ページに増ページするとともに、記事内容をさらに充実させます。ホームページやケーブルテレビとあわせて、区民への情報提供をさらに強化します。

信頼される職員の育成

新しい基本構想を実現していくためには、区民との接点となる職員一人ひとりが職務を誠実に執行して区民の信頼を得るとともに、進取の精神をもって職務にあたることが重要です。質の高い行政サービスを維持発展させるための人材育成を引き続き図ります。

都民のあり方検討への積極的な取り組み

都区制度改革については、都区の役割分担を踏まえた財源配分のあり方など、大きな課題が引き続き残されています。現在、「都区のあり方検討委員会」において、事務配分、区域のあり方、税財政制度などの検討が行われています。私も幹事会のメンバーとして、区民に最も身近な基礎自治体である区の役割を踏まえたうえで積極的に発言します。

な行財政の運営に努めます。

今年、区政は新たな時代に踏み出し

これまでの着実な歩みを進め、区に住まい、働き、学び、憩い、皆さんとともに、品川区をさらにすばらしく住みやすいまちにしていくなために全力を尽くします。

区民の皆さんのご支援とご協力をお願いします。

3

2

1

2